

平成29年度みきっ子未来応援協議会 第1回子育て環境部会 議事録

日時・場所 平成29年11月30日(木) 19:00~21:00
三木市役所2階 職員厚生室

出席者

<委員 8名> 【部会長】 浅和直子
※敬称略 【委員】 黒井一寿、八木和子、岡田美佐子
長谷川智世、岡本典子、神吉知子、丸畑護

<事務局 7名> 【こども未来部】 [子育て支援課]
井上典子(課長)、中西進(主査)、
藤尾理乃(主事)、濱口明子(主査)、
神澤政子(子育て支援コーディネーター)、
宇崎真弓
[就学前教育・保育課]
森谷歩(子育て支援コーディネーター)

1 開会

2 あいさつ

井上課長

みなさんこんばんは。今日の子育て環境部会は、事務局提案で子育て情報についての話し合いをいたします。

この後はみなさんからもっと気軽に発言をしていただける場にし、いただいたご意見を反映出来たらと思いますので、忌憚のないご意見をお願いします。簡単ですが、今日はどうぞよろしくお願いたします。

3 部会長あいさつ

浅和部会長

こんばんは。部会長を任命されました浅和と申します。普通のお母さんです。私が部長としてここにおりますのは、この会議の中で言いたいことが言え、みんなでいいものをつくる雰囲気にするためだと思っています。ご一緒によろしくお願いたします。

4 参加者自己紹介

5 議事

部会長 ①子育て応援ハンドブックについて、始めに事務局より説明してください。

事務局 子育て支援課では、平成29年度に「子育て応援ハンドブック」をA5サイズからA4サイズにするとともに、掲載内容も大幅に変更しました。このハンドブックについて、皆様のご意見をいただきたいと思います。

主な変更内容について、まずページデザインです。ページをテーマカラーで統一し、テーマ別にインデックスを設け、見やすいこと、読みやすいことを心がけました。また、子育てカレンダーや離乳食の進め方、予防接種スケジュールを加え、手当などの項目を充実しています。医療機関一覧を見開きで見やすくしました。

さらに、「遊ぶ・学ぶ・出かける」のテーマで、全体の4分の1の9ページを使用しました。在家庭の保育支援に力点を置き、児童センター・図書館の事業をはじめ、認定こども園等の園庭開放や乳幼児教育学級、子育てひろばなどの情報を紹介しています。

また、実際の体験談に基づいたコラム「パパの育児日記」も載せました。

なお、改定の前に、就学前の子どもを持つ保護者を対象にアンケート調査を実施し、ご意見やご要望をうかがって参考にしています。

このハンドブックは、市内の保育所、各認定こども園、幼稚園で在園児に配布するとともに、児童センターをはじめとする市内公共施設に置くほか、妊娠中から役立てていただけるよう母子手帳交付時に一緒にお配りしたり、子育て相談で制度の説明のときなどに役立てています。

なお、このハンドブックが完成してから、いくらか反省点がありました。そこで、来年度用に一部修正作業を行っています。今予定している主な修正箇所は、妊娠出産のページに用語の解説を追加し、赤ちゃんの駅のページにQRコードを入れる、お出かけマップを3地区に分け、各2ページで大きく表示するなど、内容や見え方に工夫を加えたいと思います。

ただいま編集作業中ですが、本日の皆様のご意見も可能な限り反映したいと思います。

部会長 では、子育て応援ハンドブックについて2班に分かれてワークショップ形式で意見を出し合った後、発表願います。

委員 改訂されたハンドブックについて良いところの意見は、以下のとおりです。

- ・情報量が増えた。
- ・かわいい ・探しやすい ・大事にしたいと思う ・見やすくなっている
- ・引っ越ししてきたときや、子どもが生まれたばかりのときには必要なので良い。

委員 悪いところについて出た意見は、以下のとおりです。

- ・まちの子育てひろばと自主サークルとの区別がつかない。
- ・広告が多すぎて目がチカチカする。
- ・地図は、以前のものが分かりやすい。
- ・表紙がごちゃごちゃしている。
- ・A4サイズなので持ち運びが不便。

委員 検討してほしい点について出た意見は、以下のとおりです。

- ・ 広告は、ページの下にバナーとしてまとめる。
- ・ パパ向けのワンポイントアドバイスがあればよい。
- ・ まちの子育てひろばが載っているので、自主サークルも載せてほしい。
- ・ どこかのページにカレンダー、メモ帳、日記帳があればよい。
- ・ ネットでも見られるQRコードがあればよい。
- ・ 三木市内の業者の広告を掲載してほしい。広告は最後のページにもっていく。
- ・ 具体的なひろば情報がほしい。

部会長 つぎに、②子育て支援Q&A（ホームページ用）について話し合ってください。

委員 ホームページについて良いところは、出ませんでした。悪いところについて出た意見は、以下のとおりです。

- ・ 見にくい。
- ・ 子育て支援課のバナーが広告スペースにある。
- ・ 文字が小さい。

委員 ホームページについての検討してほしい点は以下のとおりです。

- ・ かわいくなるともうちょっと見てもらえやすい。
- ・ Q&Aホームページのアクセス数値があるとよい。
- ・ 三木市のホームページ自体がどこに何が書いてあるかわかりづらい。
- ・ どのカテゴリを調べたらよいかかわかりづらい。
- ・ 子育ての知恵袋は更新が必要。
- ・ 自分が調べたい項目がQとして上がっていれば見てもらえやすい。
- ・ 外部に飛んでアプリとして情報を得たい。
- ・ 子育てひろばでリアルタイムに情報発信できるような場所があればよい。
- ・ こども園に入れない、入れなかったら幼稚園の手続きはどうなるの？等の具体的な悩みに答えるものがほしい。
- ・ 乳幼児編、制度編、健康編などそれぞれの項目から飛んで、それぞれの中に具体的によくある質問があって、そこから既に存在しているホームページへ直接飛べるようになれば、その目次さえあれば、保護者のほしいところにたどり着ける。
- ・ 質問と答えが一面に全部出ていると読む気がしない。質問の項目だけがあって、押せば出るという形がいい。
- ・ とにかく質問にたどりつけるような工夫を。

委員 私の年代では、パソコンに対する苦手意識も先にたって、保護者がみんなパソコン

をしているのかという疑問を感じました。私の娘は、パソコンがあっても時間的に見る余裕がないと言います。子育て中の保護者がどこまでホームページの閲覧をされているのか、私は疑問に思います。

部会長 ③その他(多世代交流施設「みきっこランド」のオープンについて、事務局より説明してください。

事務局 みきっこランドについては、昨年度のみきっこ未来応援協議会全体会と子育て環境部会で、事例の視察や施工業者を呼んで意見交換という形式で議論をしていただき、反映したものは次のとおりです。

まず、遊具が公園の360度どこから見ても楽しそうなイメージが見えるよう遊具のレイアウトの設計を変更しました。さらに、滑り台を滑ると静電気が起きて痛いという意見を受けて、遊具のところどころに静電気除去シートを張り付けました。その他にも、ターザンロープは、並ぶ方向がわかるように階段で乗り口を作るなど小学生ミーティングの意見や子育て環境部会でいただいた意見を反映しています。

また、バケット型式のブランコは、小さい子どもや体が不自由な子どもでも落ちる心配がないブランコも欲しいという意見があり、設置しました。

みきっこランドは、10月14日にオープンしましたが、オープン当初より大変多くの方の利用がある中で、いくつかの課題が生じました。そこで、駐車場への進入を一方通行への変更、遊具エリアと駐車場が隣接するために、歩道と駐車場の間に横断防止の柵や飛び出し注意の路面標示を設置しました。

そこで、完成後のみきっこランドについて、現場の工夫等の改良点がありましたら、話をしていただけたらと思います。

委員 駐車場が一杯で、たまたま金物まつりや渋滞もあり、道が混んで大変だったという意見がありました。

良い点としては、家族連れが来て良かった、憩いの場所になっているという意見がありました。

委員 みきっこランドが三木に対してどのぐらいのメリットがあって、他県からどれぐらい来られているのかという調査があってもよいのではという意見が出ました。

事務局 利用状況に関する調査は今のところ予定していません。遊具にまつわる怪我が発生したときは、公園を管理する総合体育館の事務所に連絡していただけたらよいです。

部会長 奇抜な色が子どもの色彩感覚に対して与える影響を心配していただいていると思いますが、

実際には、ウッディな色でそんなに奇抜でもなく、ローラーの色も以外に淡く、子どもにはそれほど大きな影響はないと意見もありました。

子どもが遊んでいる時の保護者の状態が気になるという意見がありました。保護者は話し込んでいるし、子どもは見えない所で遊んでいるという状態は危険です。その状態で事故がおきると悲しい話になってしまいますので、子どもの状態に気を配りながら遊ばせるというのが最低限必要だということを、看板などを立てて注意を喚起することが必要ではないでしょうか。

児童センターにある「スマホ見てないで子ども見て。」という表示のように、「あなたのお子さんどこですか、今？」というような看板を設置したらいかがでしょうか。遊具を安全に使う最終的な責任は、保護者にあるという意見でした。

幼児でも大きい遊具の場所に來たがって、大きい遊具で2、3歳から小学生までと一緒に遊ぶことになるので、保護者の方によく見ていただきたいと思います。

実際に歯を折った事故があったという話を聞きました。ロッククライミングで見学していた小学生で、そこにいなければいけない保護者がいなかったそうです。遊具が悪いのではありませんが、保護者がいなくて怪我をしてしまったという情景は気になります。

また、トイレと手洗い場は近くにあった方がよいという意見が出ました。

飲み物や食べ物等、三木市の特産物を販売するお店は、収入になります。今、アイスと飲み物の自販機を置く計画があり、それだけでも全然違います。競技場まで遠いので、近くにあるのが望ましいです。

事務局 楽しい雰囲気たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。

なお、子育て応援ハンドブックに関するご意見については、現在の改訂作業中ですので、内容に少しでも反映したいと思います。

部会長 他に何か言い足りないことはありませんか。

委員 子育て応援ハンドブックの1～2ページに「成長や発達の個人差は大きいです。月齢に関わらず、赤ちゃんなりのペースを見守ってあげましょう！」と書いてありますが、保護者はとてもこれを気にします。よその子と比べて、「回りの子は全員できているのにうちの子はどうしてできないのだろう。」と泣き出したお母さんがいました。色々な育児の本や妊娠、出産の本にも載っていると思うのですが、「他の子と比べないでね、自分の子どものペースを見ましょう。」と大きく載せてあげるとよいと思います。

基準と比べて早い段階で障がいがあったというお子さんもいらっしゃるのですが、比べることはすべて悪いことではないと思いますが、もっとおおらかに見守ってほしい

と私は思っています。

部会長 「発達が気になったら窓口はこちらへ」という連絡先が記載されている紙面構成だと嬉しいです。問い合わせ先があって、不安を解消できる窓口がすぐ見えるという構成が全体的にあればありがたいです。

委員 29ページの遊ぶ・学ぶ・出かけるというページに、ことばの保育室とことばの教室が載っていますが、幼稚園やこども園のページに載せるべきだと思います。

委員 三樹幼稚園にことばの保育室があって、三木市全域から来る場所なので、ここに記載されてもわかりません。

委員 ある子どもさんが健診に行った時に、「トラックを作ってみましょう。」と言われ、その子はトラックを作らないで横に並べて、「新幹線」と言いました。すると、「この子は、ちょっとおかしい。」という指摘を受けたそうです。その子のお母さんは6人の子どもを育てているから「これでいいのよ。」と思えたのですが、もし一人目だったら、「おかしいですよ。」と言われたら、落ち込んでしまうと思います。保健師にも幅を持っていただき、子育て応援ハンドブックのことも知らせていただきたらと思います。

事務局 ハンドブックは、総合保健福祉センター（健診会場）に置いてありますので保健師も見ているとは思いますが、また、この記事の作成については健康増進課に問い合わせで作成しています。発達に関する記載は、基本的に他の育児書にも載っているもので、こちらが根拠なく作っているものではありません。たまたまその保健師がそう言ったかもしれませんが、子育て応援ハンドブックを知らないということではありません。

委員 私も保健師にうちの子どもの発達について否定的なことを言われたのですが、私は個人差があってあたりまえだと思っており、保健師が一方的な見方になっています。

事務局 健診というのは、子どもの発達がどうかを見るのが目的の場になります。そこで、保護者が落ち込むというのもよくわかりますので、そのような声については、子育て相談などの際には、相談員が「そうだよね。」と受け止める立場になります。

しかし、健診の場で、曖昧に「大丈夫ですよ。」と答えてしまったら、次の専門的な相談機関につなげなくなってしまいます。安易に大丈夫だと言われて、適切な療育の時期にも関わらず、何もしないで小学校へ行ってしまうと、もっと早く療育の機会が

あつたらよかったと後悔することになります。言い方は、当然考えないといけません
が、言わないといけないことはお伝えしていく役割もあると思います。

部会長 今の話でお願い事ですが、保健師でも保育士でも、子どもを中心にした目線でお
話しをお願いしたいのです。その子がどうなりたいとか、周りがどう手伝いたいか、
何ができるようになることをその子が望んでいるのか、そういうところまで見据えて、
話をさせていただきたいと思います。

6 閉会

事務局(子育て支援課)

では、みなさんお疲れでした。第1回子育て環境部会を終了させていただきます。本
日は、ありがとうございました。